

「横浜市子ども読書活動推進計画」にご意見をいただいた有識者

氏名(敬称略)	プロフィール等(平成17年11月18日現在)
梅田 誠	横浜市教育委員会 教育委員長 元 横浜市中央図書館長
越智 登代子	フリージャーナリスト エッセイスト 絵本・児童書作家 横浜市介護保険運営協議会委員 横浜市救急医療検討委員会委員 日本老年医学会会員 中央共同募金会寄付金等調整委員会委員 朝日学生新聞社夏休み子ども作文コンクール審査員 他 著書:「母さんの小さかったとき」(福音館書店)「おばあちゃんのさがしもの」(岩崎書店)ほか
金澤 和子	市民グループ「子どもと本」代表 南区を中心として、市内各区で子どもや成人の読書活動推進のため、読み聞かせ、講座・講演会等の活動を実施。 次世代育成支援の市民活動にも携わる。
亀田 邦子	特定非営利活動法人「図書館の学校」理事長 日本大学文理学部教授 昭和39年国立国会図書館に入館。平成6年支部上野図書館館長。同年から国際子ども図書館の設立準備に携わり、世界各地の児童書関連施設を視察。 平成12年国際子ども図書館の初代館長に就任。13年3月退官。
齊藤 実雪	横浜市PTA連絡協議会 書記 NPO活動の一環として、音楽と物語の読み聞かせを融合した催しの実施等に取り組んでいる。
吉岡 日三雄	横浜市学校図書館協議会会長 横浜市立日吉台小学校長
依田 和子	日本図書館協会児童青少年委員会委員。IFLA(国際図書館連盟)児童青少年分科会常任委員。 おはなし会や文庫、図書館と利用者を結ぶ活動のかたわら、英米の子どもの本と文庫活動を研究。 ボランティアを対象に、子どもの本に関する講座の講師もしている。 市民の立場での読書普及活動や、図書館活性化の活動にも携わり、「かながわこどもひろば」ボランティア・コーディネーターや、「よこはまライブラリー・フレンド」のコアメンバーを務めている。

「横浜市子ども読書活動推進計画」案に対する有識者の主な意見（要約）

- 生涯学習のために読むという視点が大切。関連する本を読み、考え方の違いから学ぶ。読書は、偉大な先人（著者）との対話でもある。
- 幼児期以前の、乳児期からの読書スタートが大切。たとえば、福祉保健センターに「赤ちゃん文庫」を設けて本の読み聞かせや紹介等を実施してはどうか。
- 朝の読書活動に取り組む学校数は増えているというが、実際には週に1、2回にとどまっている学校も多い。継続して取り組むことが大切である。
- 家庭での本読み、教師の本読みが重要。子どもの身近にいる大人がまず読書に親しんでいなければいけない。
- 読書によって情報を得るという視点が重要。情報の入手や取舍選択が不適切なことが、昨今の子どもの問題行動に結びついている部分もあるのではないか。
- 地域での乳幼児の読書活動推進については、今後は、各区の地域子育て支援拠点、親子の集いの広場、そして地域ケアプラザなどが核になっていくのではないか。市立図書館との連携で、選書、団体貸出、読み聞かせの場等としての活用が考えられる。
- 図書館、地区センター、コミュニティハウスなどのおはなし会参加者の低年齢化に伴い、乳幼児向け読書ボランティア養成講座の増設が急務である。
- 読書ボランティアの活用については、基本的なスキルをしっかりと身に付けてもらう必要があり、そのためにもボランティア養成の体制を充実させることが急務。司書のレベルアップも合わせて行ってほしい。
- 読書が目的になるのではなく、より深い自己学習のための読書を。また、言葉は耳から入って獲得されるもの。親が子に読んで聞かせることが大切。
- 親や教師、友人、先輩などが読んだ本を紹介することが、子どもの読書のきっかけづくりになる。
- 横浜市教育委員会として独自の推薦図書読書感想文コンクールを創設してほしい。
- 基礎学力を身に付けることと読書とは密接な関係にある。朝読書等では発達段階にみあった本の紹介をお願いしたい。
- 教職員が、子どもの読書活動推進の意義を認識することが重要。学校図書館における指導の充実とあわせ、各教科等の指導の中で読書活動をいかに効果的に取り入れていくかが課題。
- 「読書離れ」とよく言われるが、必ずしも正しい捉え方とは思えない。
- この計画が予算措置や具体的な施策にどう結びつくのか。学校図書館の充

実に必要な条件整備は本だけでなく、人や施設もそう。なぜ必要なのか、どのように進めるかをより具体化していく必要がある。

- 司書教諭の現状や、読書活動ボランティアの状況など、より詳細な現状把握に基づく具体的な取組が必要ではないか。
- 実効性のある計画にして欲しい。3年くらいしたら、計画案の検証も必要。
- 読書施設が増える中で、市民図書室の役割は変わっていくと思う。むしろ学校図書館を充実させることが重要。そのためには「学校図書館支援センター」を構想してほしい。
- 役割分担を明確にしていく方向で検討してほしい。一般の読書需要には図書館や地区センター等で対応し、子どもの需要には学校図書館が全面的にこたえられるくらいのつもりで充実を図ってほしい。